

第 29 回 北海道新篠津高等養護学校 卒業証書授与式 式辞

北海道新篠津高等養護学校「第 29 期生」の皆さん、ただいま、私から皆さんへ社会人へのパスポートであります卒業証書を授与いたしました。御卒業、おめでとうございます。

弥生三月、春の足音が聞こえる今日の佳き日に、新篠津村 村長 石 塚 隆 様を初めとしまして、御来賓の皆様の御臨席を賜り、「第 29 回卒業証書授与式」を举行できますことを心から感謝申し上げます。

そして、今日の日を迎えるにあたり、お子様を陰に日向にと支えていただきました保護者の皆様には、お慶びも一入（ひとしお）のことと御拝察申し上げます。お子様の御卒業、誠におめでとうございます。

さて、卒業生の皆さんは、本校の第 29 期生として、令和3 年4 月8 日に入学しました。皆さんにとって、高校生活の3 年間は長かったでしょうか？ 短かったでしょうか？ その感じ方はそれぞれだと思いますが、卒業アルバムを見たところ、どの顔も高校生活の3 年間で大人になったことは確かだと思います。

私は、1 年間だけ皆さんを見ておりましたが、先生方からお聞きするように、よく話し合いながら学習などに取り組み、穏やかで、仲間通しで気遣いができる、素晴らしい学年だと思っています。それは、学校祭での学年発表などいろいろな場面での素晴らしいチームワークの表現に現れていました。本日、舞台上に飾られている「金閣寺」の共同製作もそのことを表現しています。見学旅行の思い出についてカラー爪楊枝を材料に、みんなでコツコツと約半年かけ製作した仲間との絆と協働を表現した、素晴らしい作品だと、私は感動しております。

また、本校は、毎年度、生徒会が主体となって「いじめ防止標語」を募集してクラスごとに作品を応募しておりますが、家庭総合科の皆さんが2年生の時に作られた「自分を傷つけない 相手を傷つけない それが一番」というスローガンは、第29期生が仲間を思いやる心につながることを表現しているすばらしい言葉だと思っています。私はとても感動したので、このスローガンを毛筆で書いた横断幕を校長室に掲示しており、これからはいじめのない学校にしていこうと皆さんのことを思い出しながら心に誓って行きたいと思います。皆さんは、これから出会う人たちとのかかわりでも「自分を傷つけない 相手を傷つけない それが一番」という思いやりの気持ちで接してくれるものと期待しております。

ところで、新篠津高等養護学校の3年間の学習は、社会で「生活する力」、「働く力」を身に付けることを重点としていますが、最も大切にしているのが現場実習です。3年間の現場実習では、社会の厳しさ与人からの支えを感じたのではないのでしょうか。1年生のときは、先生方の引率による体験実習でしたが、2年生では1人で事業所に行く単独体験実習が多くなりました。3年生では進路希望先で、いわゆる就職試験の意味付けとなる前提実習を行いました。学校内での学習と違い、年齢の離れた方々へ気を使いながら仕事をしたり、突然、お客様に話しかけられ困ってしまったりなど想定外のこともあったと思います。担任の先生が巡回に行くと安心したのではないのでしょうか。

一方では、事業所の方に気付かせていただき声をかけられたことで、不安が少しずつ少なくなり最後まで実習を続けられた人もいました。決して成功したことだけではなく、失敗したこともありました。各学年の実習体験を積み重ねるごとに、今振り返ると社会人への階段を一步步昇っていたことがわかると思います。

いよいよ、4月1日からは社会人となります。民法という法律に基づきまして、令和4年4月1日からは成人年齢が20歳から18歳へと変わりました。卒業後は学校の生徒としてではなく、社会人並びに成人という役割をしっかりと自覚してください。

社会人並びに成人としての自覚について考える際には、引き続き本校の校訓「すすんでやりぬく人」を心がけると良いでしょう。そのような積極的な姿勢、根気よく取り組む姿勢で生活をしたり、

働いたりすることは、周りの皆さんから信頼を得て協働することに確実につながります。それは、地域社会の一員として、働くことを中心とした質の高い人生を過ごすことにもつながります。

最後になりましたが、保護者の皆様並びに新篠津村の皆様、そして現場実習先の事業所など地域関係者の皆様には、本校の教育活動につきまして格別の御理解と御協力を賜りましたことを、教職員を代表して厚くお礼を申し上げます。そして共にお子様を、生徒を支えていただき、このように素晴らしい若人を育めたことを、心より感謝をしております。

結びに、希望に満ちた旅立ちの日に当たり、卒業生の皆さんが自分らしく社会に貢献しながら、たくましく未来を生きることを心から祈念いたしまして、式辞といたします。

令和6 年3 月8 日

北海道新篠津高等養護学校

校長 立 田 俊 治